

女性同窓生エッセイ一期一会
第1回 青沼 泉さん (72期)

女性同窓生交流委員会より

新役員として委員長を引き受けてから、コロナ禍で開催は延期、活動は何もできないままでした。この度HPに於いて皆さまに情報を発信し交流することになりました。よろしくお付き合いください。

最初ですのでこの会について話したいと思います。

女性同窓生の会って何？どんなことしてるの？そもそも女性だけの会って必要なの？

参加されたことの無い方にとっては疑問だらけの会かもしれません。私がそうでしたから。案内をいただいてテーマに興味はあっても(女性だけの会・・・ウーン・・・)と思いこの足を踏んでおりました。コロナ禍前の会に同期の榎本さんのフルートを聴きたくて初めて参加して、こういう会があってもいいなあと思えました。

(実は同窓会本部にも女性同窓生の会があります。同期が幹事の時手伝いを頼まれて参加しました。期ごとの幹事持ち回りで県内在住者が対象。ここで話をする関東同窓会とは別です。)

さて、上田高校に初めて入学・卒業された女性は52期の皆様です。1995(平成7)年、その方たちが中心となり初めて女性同窓生の懇親会が開かれました。幹事持ち回りで計5回行われました。その後2007(平成24)年、関東同窓会においてアクションプランとしていくつかの委員会が設置され、それ以降委員会活動として7回行われて参りました。講演や演奏などの催しと懇談を2本の柱としております。

なぜ女性に特化した会なのか？それは女性の同窓会への参加が少ないからです。最初に実施してくださった先輩の思いも、委員会として引き継ぎ活動することになったのも、同窓会への窓口となる場を作り、女性同士の懇親を深め、より多くの女性の同窓会への参加を願ってのことです。

参加した折の懇談で先輩から「私たちの時代、美大は女子美しか女子を受け入れてくれなかった」と聞きハッとしました。今はそんなことは無く大学や企業が女性を普通に受け入れていても、女性が女性で無くなるわけではありません。社会で家庭で健康面で、女性であるが故の悩みや思いは変わらずあるでしょう。解決にはならなくても語ったりアドバイスしたり共感できるそんな場所、様々な年代の女性の集まりだからこそその良さがこの会にはあると思います。

女性同窓生の皆さま、再びこの会が開けるようになりましたらまずは参加してみてください。居心地の良い場所だと思っていただけるよう取り組んで参りますので。

委員長 青沼 泉(72期)